

「県民に大きな喜びと感動を与える鹿陸協をめざして」  
理事長 妻鹿 功

山下孝文氏から理事長を引き継ぎ二ヶ月が経過いたしました。この間、皆様方のご支援をいただき大過なく責務を果たすことができ、心から感謝申し上げます。二ヶ月間の理事長職で感ずることは、この職の繁雑さに戸惑っており、前理事長山下氏をはじめ、歴代の理事長さん方は「自分の仕事を持ちながら、永年にわたり理事長職をなさっていたのか」と思つて、ただただ敬服する次第です。

私は、仕事の関係で鹿陸協から十五年間離れていましたので、鹿陸協の現状並びに課題等をよく把握できていないまま理事長を引き受けた次第です。ただ、この十五年の間、外から鹿陸協を見させて頂き、歴史と伝統、数多くの栄光また、本県スポーツ界のリーダー的存在であることなど、鹿陸協のすばらしさとすごさを知ることができました。それだけに、理事長職に現在、大きな不安と身の引き締まる思いを抱いております。引き受けました以上は、これまでの偉大な理事長さん方の業績を汚すことのないよう、会長さんはじめ、関係各位のご指導ご鞭撻並びにご支援をいただき、微力ではありますが精一杯の努力を傾注してまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

私は、鹿陸協は各地区陸協をもって成り立っていると考えますので、各地区陸協のご意見に耳を傾けながら係わってまいりたいと思つています。鹿陸協の行事に献身的に携わってくださる方々は、こよなく陸上競技を愛し、次代を担う後輩たちの活躍を楽しみにしている方々や、陸上競技に何らかの関係を持ち、それぞれの立場で鹿陸協の発展充実に願つておられる方々が大半だろうと思つております。「好きなこととは楽しくかかわっていく」というのが私のモットーでもあります。好きなことをボランティアでやるわけですから、和を大切に楽

しくかかわっていたらただければと強く願つております。私は、昨年体調を崩してから今でも本調子ではございません。再発するおそれが多分にありますので、そんな状況になつた時、私の替わりをしてくださる元気な方、また私に遠慮なく物言をする人といつことで今回無理をお願いして松下安富男氏に副理事長を要請し、福永一則氏に理事長室員を、鳥越猛氏には引き続き事務局長をお願いしました。さらに、各専門部の部長さん方にも継続をお願いした次第です。この点につきましても何卒よろしくご理解ください。県民に大きな喜びと感動を与えられる鹿陸協であるよう、皆さんと一緒に頑張りましょう。

ところで、今回このような理事長室だよりを発行することにしました。鹿陸協に関する情報を皆様方にご覧いただける開示し、各地区陸協の方々とも各種の課題を共有し解決に向けて対処できたらと思つています。ご協力と情報の提供も併せてお願いいたします。

鹿陸上競技界へのメッセージ  
顧問 鳥丸 卓三

この度、理事長室だよりが発行されると聞いてとても喜んでおります。情報化時代を迎えて選手や審判員と県陸協執行部が情報交換しコミュニケーションを図ることは大事なことで思つています。この企画が定着し関係者が首を長くして待つような内容の濃いものになるよう希望します。ところで、競技会に出会えるたびに、早朝から審判員や補助員が駆けつけて準備を整え、審判をし、終わったら後片付けと熱心に取り組んでいる姿を見るにつけ、申し訳ない気持ちと感謝の気持ちで一杯です。奄美大島など離島をはじめ、本土でも遠方からの審判員も多いのに、早朝に集合するのは大変だつと同情の念を禁じ得ません。僅かな旅費と口当ながら不満も漏らさず、黙々と役割を果たしておられるのは陸上が好きで選手が気持ちよく競技し、良い記録を出してくれたいことを願つているからだと思つています。それは指導者についても同じことが言えます。協会の強化部のスタッフは、休みも返上して強化合宿や練習会での指導に明け暮れています。学校や職場の指導者も大同小異で

しょう。私は三十年前の太陽国体で選手指導者、審判員が三位一体で取り組むチームワークの大切さを身にしみて感じました。この度、六年間全力疾走で頑張つてくれました山下孝文氏から新しく妻鹿 功氏へ理事長職がバトンタッチされました。妻鹿理事長は陸上競技への情熱、リーダーシップや人間性などあらゆる面で得がたい人物です。この妻鹿理事長を中心に陸上競技を愛好するという共通の理念を持った仲間が協力一致して鹿児島陸上競技協会の盛り上げていって欲しいと思つております。

女子百米で県新記録誕生

五月五日、茨城県水戸市陸上競技場で開催された水戸国際陸上競技大会において、瀬戸口 渚選手（県体育施設協会職員）が女子百米で十一秒六二の記録を出し三位に入賞しました。この記録は本人が一、一年に樹立した十一秒七一の県記録を、秒九更新する新記録でした。瀬戸口選手は、今年の四月から鴨池陸上競技場に勤務し、仕事のと毎日一人で黙々とトレーニングに励んでいまして、彼女の今後の更なる活躍を期待し、皆さんともども声援を送りましょう。

南日本中学生陸上競技大会で好記録続出

第二十回の標記大会が五月十八日に開催され、トラック十六種目、フィールド十種目に約千名の中学生が出場しました。男子共通ジャベリックスロ―で川畑友彰選手（大口南）が五十四米六十四、女子円盤投で山下鮎美選手（大口明光学園）が三十二米、二と共に県中学校新記録を樹立するなど、次代を担う若きアスリート達が各種目で活躍し、私どもに大きな喜びと期待を抱かせてくれました。尚、川畑・山下選手の外に男子共通二百米の南谷豪人選手（西原原）、男子共通走幅跳の栗田貴文選手（伊集院北）、女子一年百米の岩坪由紀選手（清水）、女子共通八百米の有蘭 惠選手（大口）の六選手に優秀記録賞が授与されました。今後の活躍を期待したいものです。

全日本競歩大会で好記録

五月四日、石川県で開催された全日本ジュニア競歩大会に出場した飯山由香選手（鹿女子高）は、女子五千米競歩で二十四分十秒四八の記録で見事

二位に入賞しました。おめでとございませう。往年の名選手「松ヶ角選手さん」より寄付金

昭和四十年の岐阜国体女子八十米ハードルで当時の日本高校新記録十一秒八を樹立するなど活躍した名選手、松ヶ角選手さん（鹿女子高卒）より「高校時代陸上競技を通してたくさんの方の楽しい経験をさせていただき感謝しています。少ないですが鹿陸協のために役立ててください」と五十万円のご寄付を賜りました。心からお礼申し上げますと共に、有効に活用させていただきますと思つております。

訃報「湊川昇康氏」逝去

かねて病氣療養中のところ、五月十六日急性呼吸不全のため六十七歳にて逝去されました。湊川氏は若い頃、投てき選手として、また審判員として本県陸上界のため多大な貢献をされました。心から深謝し、ご冥福をお祈りいたします。

専門部だより

- 強化部  
各駅伝競走大会代表チーム総監督決まる  
九州一周駅伝競走大会  
総 監 督 神ノ門 均氏（指宿商高教）  
全国都道府県対抗駅伝競走大会  
男子総監督 上岡 貞則氏（鹿業業高教）  
女子総監督 福永 一則氏（鹿女子高教）  
今後、総監督を中心にスタッフの人選を行い練習計画をたて各大会での上位入賞を目指し強化部としても競技力向上に努めていきます。
- 審判部  
新規審判員講習会の開催について  
七月に開催される県陸上選手権大会の二日目（十二日）午後 時十五時まで、鴨池陸上競技場ミーティングルームで標記講習会を開催します。この講習会の対象者は新規審判資格取得希望者及び登録者でまた本年度の審判講習会未受講者となります。  
登録料新規（B級）二千元、審判手帳代三百五十円と筆記用具を持参してご出席ください